接続詞②

**POINT**

1．等位接続詞を使った表現を覚える

2．副詞節を導く接続詞＋αを覚える

3．副詞節と名詞節の意味を理解して区別できるようにする

4．時や条件を表す副詞節のルールを理解して覚える

5．接続詞thatの＋αの知識を理解して覚える

１．等位接続詞を使った表現

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 意味 | 表現 | 主語の時の動詞の扱い |
| AもBも両方とも | Both A and B | 複数扱い |
| AだけでなくBも | Not only A but also B | Bに合わせる |
| AかBどちらか | Either A or B | Bに合わせる |
| AもBもない | Neither A nor B | Bに合わせる |

Ex　Not only you but also I am wrong.　←Ｉにあわせる

あなただけでなく私も間違っています。

2．副詞節を導く接続詞＋α

①A until/till B =BするまでA

②A as soon as B＝BするとすぐにA

3．副詞節と名詞節

（1）用語

節＝ＳＶを含んだかたまりのこと

（2）副詞節と名詞節の判断のやりかた

①名詞と副詞の判断のやりかたと同じ

・名詞＝it置き換えてはまる

・副詞＝it置き換えてはまらない＋名詞以外につながる

②例文

・I think 【that this book is difficult.】

→I think it=私はそれを思う。

→はまるSＶのかたまり＝名詞節

・I liked soccer 【when I was a child.】

→I liked soccer it=私はサッカーをそれを好き

→変＝名詞節ではない

→【私が子どものとき】につなげて自然なのは

①私　②好きだった　③サッカー

→②好きだった＝名詞以外につながるSV＝副詞節

4．時や条件を表す副詞節のルール

（1）時制の一致

Ex　私は彼が医者であると思った。

I thought that he is a doctor. (×)

【理由】

目の前の彼を見て「医者だと思った」

→「医者である」と「思った」は同じ時間

＝過去形にそろえる（is→was）

（2）時制の一致の例外

ルール

**時や条件**を表す**副詞節**では**未来のことも現在形**を使う

Ex　私はもしあした晴れたら野球をするつもりです。

I will play baseball 【if it is fine tomorrow】.

→I will play baseball it=私は野球をそれをする

→変＝名詞節ではない

→【もしあした晴れたら】につなげて自然なのは

①私　②するつもり　③野球

→②するつもり＝名詞以外につながるSV＝副詞節…（ⅰ）

If=「もし～なら」→条件を表す接続詞…（ⅱ）

（ⅰ）＋（ⅱ）の条件が揃う＝**未来のことも現在形をつかう**

5．接続詞thatの＋α

（1）「～ではないと思う」の表現

Ex　私は彼が医者ではないと思う

　　I think that he isn’t a doctor. （×）

I don’t think that he is a doctor. (○)

「～であると思わない」という表現に変える

（2）感情などを表す形容詞の後ろに続く場合もある

Ex　I’m glad that you remember me.

私はあなたが覚えていてくれてうれしい。

※その他の形容詞は発展P114④参照